

留 学 報 告 書

記入日:2017年1月25日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	台湾
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立台湾大学 現地言語: national taiwan university
留学期間	2016年9月～2017年1月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社会学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	1995年1月23日
明治大学卒業予定年	2018年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬から1月中旬 2学期:3月上旬から7月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3万人強
創立年	1945年

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料		0円	
宿舍費		108000円	
食費		180000円	
図書費		40000円	
学用品費		0円	
教養娯楽費		0円	
被服費		0円	
医療費		0円	
保険費		30000円	形態:
渡航旅費		32000円	
雑費		100000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		490000円	

渡航関連

渡航経路: バニラエア	
渡航費用	
チケットの種類	格安 LCC
往路	16000
復路	16000
合計	32000
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
特に利用しませんでした	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学からの斡旋

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

2 人部屋で苦勞している友人が多かったので 1 人部屋をお勧めします。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した: 大学内に病院が隣接している

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

国際教育事務室があります。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

空港で月 3000 円ほどで月々使い放題の sim カードを購入しました。接続はよかったです。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で作ったデビットカードからおろしていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

現地で大体のものはそろいますが電子書籍を読めるデバイスなどは日本で用意してもよいかもしれません。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
taiwan and southeast asian arts	台湾と東南アジアの文化研究
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	坂井隆
授業内容	主に東南アジアや台湾の原住民族などの文化について取り扱います。台湾を知るうえでよい授業だと思います。
試験・課題など	英語または中国語でのレポート
感想を自由記入	かなりコアなところまで掘り下げて学ぶ授業であったため、興味がない人には難しい授業だと思います。またある程度の基礎知識を前提とした授業なのでしっかりと歴史の勉強も必要となります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
general chinese language course	中国語
科目設置学部・研究科	
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 3 回
担当教授	許筑琴
授業内容	中国語を学びます。
試験・課題など	中間と期末テストと、教科書に基づいた定期的なテストもあります。
感想を自由記入	最初にテストを行い、クラス分けを行います。自分は基礎クラスに振り分けられたのですが、かなりレベルが低く学ぶところが少なかったです。宿題もあまり課されないの、自主学習が重要となります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
introduction to English presentation	プレゼンテーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	半期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	安馬克
授業内容	効果的なプレゼンテーションの方法を学び、学問だけでなく、社会人になってからも使えるプレゼン力を養ってくれる授業です。
試験・課題など	何度かプレゼンテーションのスク립トの提出が求められます。
感想を自由記入	先生の発音がとても分かりやすく、またジョークを織り交ぜながら指導してくれるのでとてもためになりました。発表の機会があるためアウトプットの機会も設けられています。とても人気のある授業なので教室は生徒でいっぱいになっていました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2015年 1月～3月	
4月～7月	留学を決意
8月～9月	TOEFL 試験の勉強
10月～12月	留学計画書作成
2016年 1月～3月	留学決定
4月～7月	留学の準備
8月～9月	出国
10月～12月	11月に中間テスト
2017年 1月～3月	期末テストと帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	海外旅行などを通じて、国際関係や国際政治に興味を持ちました。中でも対中への政治などに興味を持ち、自身の知識、見聞を広げたいと考えました。また英語で授業をとれるため、語学力の向上につながると考えました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力の向上は言うまでもありませんが、留学先やその周辺の国の歴史文化をしっかりと理解してから留学に行くべきだと思います。そうしたとき、何気ない街の風景や出来事でさえ考えるきっかけになるからです。自分のアンテナを広げ、たくさんのことを学ぶためにも歴史、文化学習に時間を割くべきだと感じました。
この留学先を選んだ理由	国立台湾大学は外国人留学生の受け入れにとっても力を入れている大学です。そのためアジア、ヨーロッパ、中南米と幅広い地域から留学生が来ています。また台湾人の学生は、中国との国際問題を多く抱えているためそれを現地で学びたいと考えていました。国際政治を学び、見識を広げるという意味でも国立台湾大学はとても良い留学先だったと思います。
大学・学生の雰囲気	国立台湾大学は台湾でトップの大学であるため、生徒のレベルはとても高いです。また24時間開放の自習室があり、深夜になっても帰らず勉強している現地の台湾人大学生が多く、刺激を受けました。集中して勉強するのに適した大学だと強く感じました。
寮の雰囲気	ラウンジには生徒が集まりよく交流していました。またランニングマシンなども常設されており、利便性は高かったです。しかし、寮近くで騒ぐ日本人に度々苦情が出ていました。一人一人が他者へ迷惑をかけないような心がけをする必要があると感じました。
交友関係	留学生同士の交流イベントがたくさんあるため、すぐに友達はできるので心配いらないと思います。また寮のラウンジにたくさん学生がいるので少しの勇気があれば多くの交流を持てる環境になっています。サークルに所属するのもよききっかけになると思います。
困ったこと、大変だったこと	台湾の食事はすべてが脂っまいので、胃が荒れ、苦労しました。そのため最後のほうはチェーン店などの、油があまり使われていなさそうなレストランによく行っていました。それ以外は特に不満もなく、大変だったこともありませんでした。
学習内容・勉強について	国際政治や政治経済の勉強に取り組んでいました。授業と台湾人との言語交換の時間以外は基本的に図書館で上記の分野の文献に目を通していました。自分の興味のある分野を深く勉強する時間をたくさん取ることができたのでかなり満足しています。
課題・試験について	留学生向けの授業の課題はそれほど多くなく、みんなあまり苦労することなく単位をとれていました。その分自分の好きなことを学ぶ時間は多く取れました。授業をたくさん取るなら話は変わってきますが、基本的には自主学習が大事になってくると思います。
大学外の活動について	クラブ活動もありますし、ボランティア団体に参加する友人などもいました。そのほかにも自分でインターンシップを行っている友人もいました。自分は何度か剣道サークルの活動に参加させてもらいました。
留学を志す人へ	一つ心に留めておいてほしいのは、留学に行ったからといって何かが大きく変わることはありません。留学前から勉強をする習慣を作っていた人は留学先でも勉強しますし、留学してから頑張ればいよいよと考える人は留学してからもおそらく勉強しないと思います。長い留学生活の中で授業を受けている時間は微々たるものです。つまりそれ以外の時間をいかに有効に使えるかが重要になってきます。理想の留学にするためには、留学前の準備を怠らないようにしましょう。



一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	中国語	授業	中国語	授業	中国語	図書館で勉強	図書館で勉強
	中国語	授業	中国語	授業	中国語	図書館で勉強	図書館で勉強
午後	図書館で勉強	授業	図書館で勉強	授業	図書館で勉強	ジム	ジム
	図書館で勉強						
夕刻	ジム	ジム	剣道	ジム	剣道	図書館で勉強	図書館で勉強
夜	図書館で勉強						